



経営と運営

経営と運営、いずれも世間一般、多様な組織で使われている用語です。学校においては、学校経営や学校運営、学級経営、分掌組織の運営などといった使い方がされます。

本号では、この二つの用語について取り上げます。



経営とは、組織目標の達成のため、人材や設備、予算などのいわゆる「ヒト・モノ・カネ」に係る資源を

活用して戦略を立て、実行・評価・改善について指示する営みを指します。学校における主体は、校長です。

一方の**運営**は、目標達成に向けて組織をまとめ、業務を遂行することです。学校では、副校長をはじめ、主幹教諭や主任教諭などのミドルリーダーが担います。

校務を回していくのが**学校運営**、校務を回す人材や組織、回し方を決定したり変更したりするのが**学校経営**です。

なお、**学校経営参画**とは、校長の学校経営に関わっていくことです。例えば、校務の回し方等について校長から意見を求められた際に、自分の考えを根拠を基に表明すれば、それは学校経営参画の一つです。さらに、日頃から校長の課題意識を把握する中で、学校経営に有益な情報を主体的に伝達することができれば、更に一步進んだ学校経営参画と言えます。その主体は、校長を除く全ての教職員です。

能あるタカ

大隈鐵工所社長 松谷 昭

企業経営は、結局、人の問題に集約できる。能あるタカはツメを出せ、能あるタカのツメを引き出せ。

出典：「成功への名語録」（講談社編 講談社）

※ 人の問題、すなわち「強み」を見極め、育て、生かすこと。人材の発掘・育成・活用です。